

平成 17 年 4 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ク レ オ

代表者の役職名 代表取締役社長 川畑 種恭

(JASDAQ コード 9 6 9 8)

問い合わせ先 常務取締役 岩淵 和夫

TEL 0 3 - 3 4 4 5 - 3 5 0 0

平成 17 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 11 月 12 日付当社「平成 17 年 3 月期中間決算短信(連結)」において発表いたしました平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の業績予想を下表のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想修正について

平成 17 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	一株あたりの期末配当 金
前 回 予 想 (A)	10,000	350	100	10 円
今 回 修 正 (B)	9,200	600	790	10 円
増減額 (B - A)	800	950	890	-
増 減 率	8.0%	- %	- %	-
前期(平成 16 年 3 月期)実績	10,022	125	21	-

平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	11,800	450	120
今 回 修 正 (B)	11,000	450	750
増減額 (B - A)	800	900	870
増 減 率	6.7%	- %	- %
前期(平成 16 年 3 月期)実績	11,709	249	48

2. 修正理由

1) 通期業績

当期のシステム開発事業は、大型受注案件の不具合によるコスト増に、不具合対応に伴う販売機会損失が重なり、売上高と利益は大幅減少となる見込みであります。

企業向け C B M S パッケージ事業においては、成立した大型商談の売上が 3 月から 4 月にずれ込んでしまったこと、次期製品の発表により現製品から次期製品への展開が発生したにも関わらず次期製品の提供が遅れたこと、などから当期の売上の相当部分が来期にずれ込み、結果として当期の売上・利益が減少すると見込んでおります。

コンシューマ向けパッケージソフト「筆まめ」および関連製品は、市場の冷え込みによる厳しい競争の中、売上の伸びは堅調に推移し、利益におきましては大きく好転いたしました。

また、営業外費用では平成 17 年 1 月に実施しましたヤフー株式会社との業務・資本提携に伴い、第三者割当増資による新株発行費が発生しました。

これらの結果、売上高は 9,200 百万円、経常損失は 600 百万円、当期損失は 790 百万円となり予想を大幅に下回る見込みとなりました。

一方、平成 17 年 1 月に実施しましたヤフー株式会社との業務・資本提携に伴い、大規模な開発ニーズが発生しておりますが、第 4 四半期に発生した提携であること、開発体制の拡充を急いでいる段階であること、などから今期における売上・利益貢献は小さく、その成果は来期にずれ込まざるを得ない状況となっております。

なお、配当につきましては、上述のように来期の業績回復が見込まれること、当社のキャッシュポジションの状況等を鑑み、予定通り 1 株当たり 10 円といたします。

2) 通期連結業績

当社の業績修正と同様であります。

以 上